

株主メモ

決算期	毎年3月31日
配当金受領 株主確定日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月中
基準日	毎年3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して停止いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉2丁目8番4号 証券代行事務センター（〒168-0063） 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話（03）3223-7111（代表）
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店



<http://www.ohashi.co.jp/>



株式会社オーハシテクニカ

（証券コード：7628）

〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階

TEL.03-5321-3411（代）



この事業報告書は、エコマーク認定の古紙配合率100%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ大豆油インキで印刷されています。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今上半期、国内経済は輸出や設備投資の増加など、ようやく景気回復の兆しが見え始めてまいりました。その中で、当社の主力市場であります自動車業界では、上半期の国内生産台数が乗用車の新車販売の好調などを背景に、順調に推移いたしました。

このような状況下、全社を挙げて業績の拡大と経営基盤強化に取り組んでまいりました結果、期初の予想を上回る業績を確保することができました。

引続き業績を安定的に拡大させていくため、当社では全社員一丸となって、地球環境の改善に貢献することを目的とした「開発提案型営業」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2004年12月



代表取締役社長
古尾谷 健

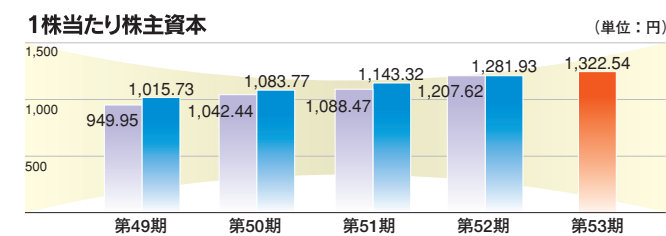
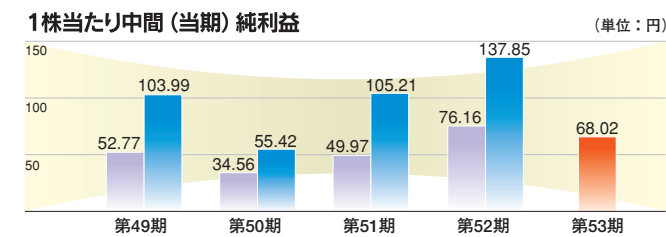
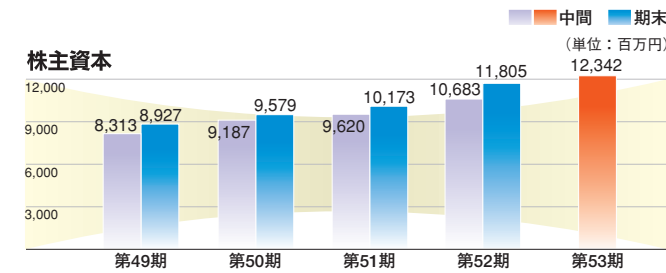
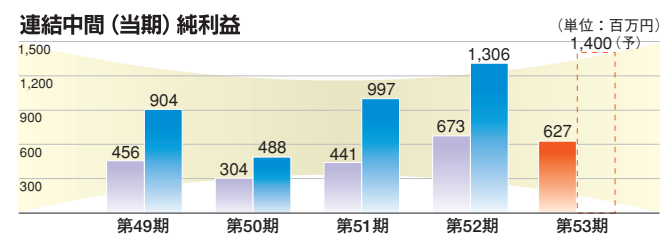
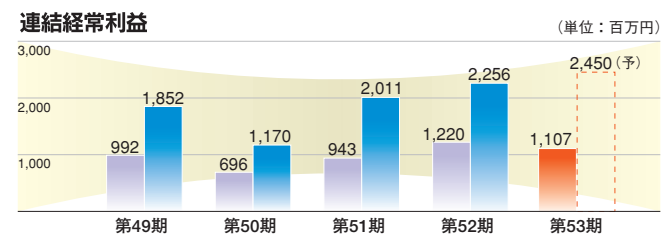
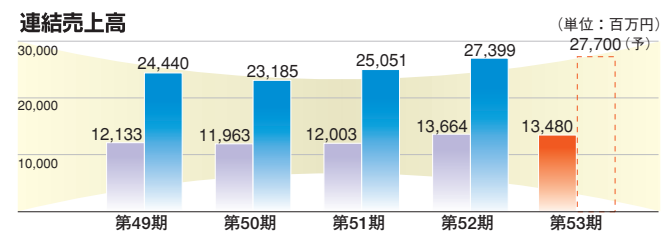
経営ビジョン

グループの存続と繁栄を目指し、
生産財要素部品等を対象とする環境を重視した
「開発提案型企业」として、
世界のお客様に信頼されるオーハシテクニカを実現する。

CONTENTS

- ごあいさつ ————— P1
- 連結財務ハイライト ——— P2
- トップインタビュー ——— P3
- 事業戦略 ————— P4
- クローズアップ ——— P5- 6
- 連結財務諸表の要旨 ——— P7
- 単体財務諸表の要旨 ——— P8
- 株式の状況 ————— P9
- 会社概要 ————— P10

	第49期中間期 平成12年9月期	第50期中間期 平成13年9月期	第51期中間期 平成14年9月期	第52期中間期 平成15年9月期	第53期中間期 平成16年9月期
連結売上高（百万円）	12,133	11,963	12,003	13,664	13,480
連結経常利益（百万円）	992	696	943	1,220	1,107
連結中間(当期)純利益（百万円）	456	304	441	673	627
株主資本（百万円）	8,313	9,187	9,620	10,683	12,342
1株当たり中間(当期)純利益（円）	52.77	34.56	49.97	76.16	68.02
1株当たり株主資本（円）	949.95	1,042.44	1,088.47	1,207.62	1,322.54



古尾谷社長に
聞く



Q.1 ジャスダック上場から4年8カ月というスピードで東証一部上場を達成できた理由は

当社の主力事業分野である自動車関連市場、情報通信市場が順調な成長を続けてきた中で、開発提案型営業という当社独自の活動を展開してきたことが、結果として業績の安定拡大や経営基盤の強化につながり、それが東証一部上場を果たす大きな力になったと思います。勿論、株主、得意先、仕入先、関係者の皆様及びグループ全社員とその家族のご協力の賜物であり、どれか1つでも欠けたら達成はできなかったと思います。今後は、一部上場企業としての社会的責任を強く自覚し、企業活動を通じて社会に貢献してまいりたいと存じます。

Q.2 人材開発には特に力を入れておられるそうですが

ファブレス企業である当社において、最大の経営資源は「人」です。会社の代表者は社長ではなく、第一線で働く社員であるというのが私の考えです。従いまして、そのための教育・研修には、大変に力を入れています。創業以来、ドラッカー理論を経営哲学として、会社の成長を支える社員のための継続学習を実施しており、私も自ら講師として参加しています。

Q.3 今後の目標は

激しい時代の変化にあって、企業が生き残るためには、いかにして他社にない「強み」を創造していくかという点にかかっていると思います。そのためにも、高精度の技術開発・提案営業を、全力で展開していきたいと考えております。
具体的な目標としては、中期計画におきまして、連結売上高500億円、営業利益50億円を目指しています。また、海外市場の成長性を見込み、売上高比率で国内:海外をそれぞれ50%ずつにしたいと考えております。また新市場への取り組みを強化する中で、自動車と非自動車部門を70:30にしたいと考えております。

Q.4 株主還元について何かお考えですか

今期より、中間配当(10円)と中間時にも株主優待を実施することにいたしました。また今後の配当政策につきましては、業績に連動した柔軟な配当を行ってまいります。そして何よりも、業績を安定的に成長させることで、株主の皆様の期待にお応えしてまいりたいと思います。

今上半期におきましても、
着々とグローバルな販売、調達、製造体制を整えるべく、
積極的に手を打ってまいりました。

ヨーロッパ戦略への拠点である
OTUK

2004年6月、ノースイースト営業事務所が、新たに物流倉庫を備えた支店として再スタートしました。特に、北部地区における日系メーカーに向けての営業活動を進めています。

アジア戦略への拠点である
OTT/OST

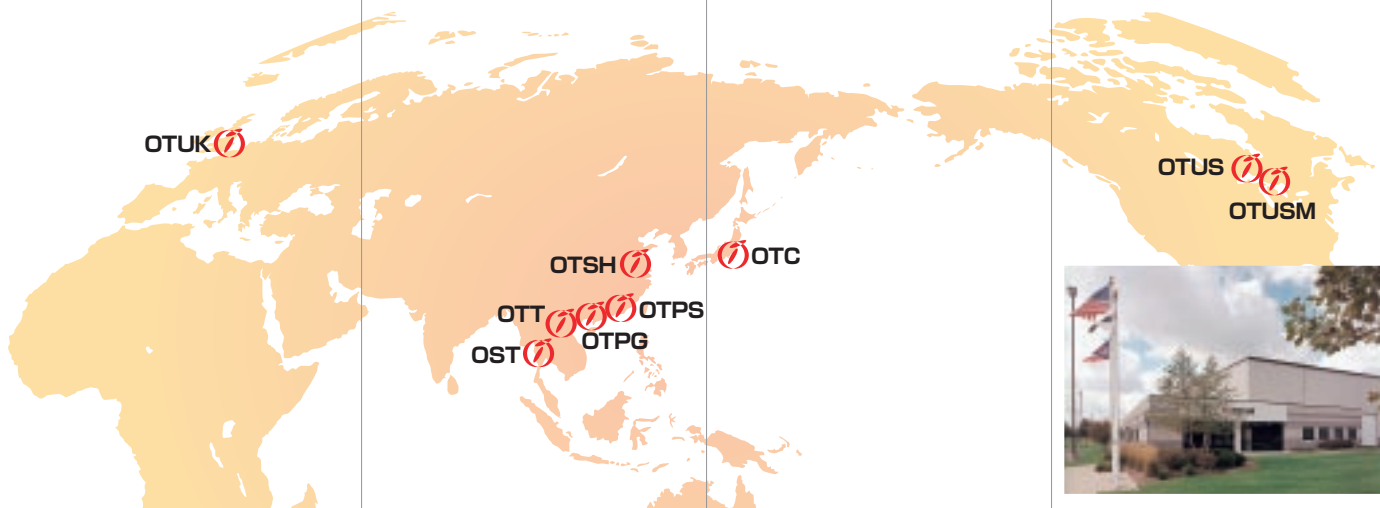
2004年6月、OTTの本社機能、社屋、及び物流倉庫を、現在のプラチンプリからバンコクへ移転するための建設に着手しました。完成は2005年1月です。今後は、アセアン諸国向けの営業活動を一段と強化してまいります。

飛躍する中国市場での拠点
OTSH/OTPS/OTPG

2004年11月、中国広州市に、自動車部品の製造販売のための子会社、大橋精密件製造(広州)有限公司を設立しました。中国では3番目の子会社となります。生産開始は2005年10月の予定で、中国地域における一段の需要拡大に備える計画です。

北米の現地生産をバックアップする
OTUS/OTUSM

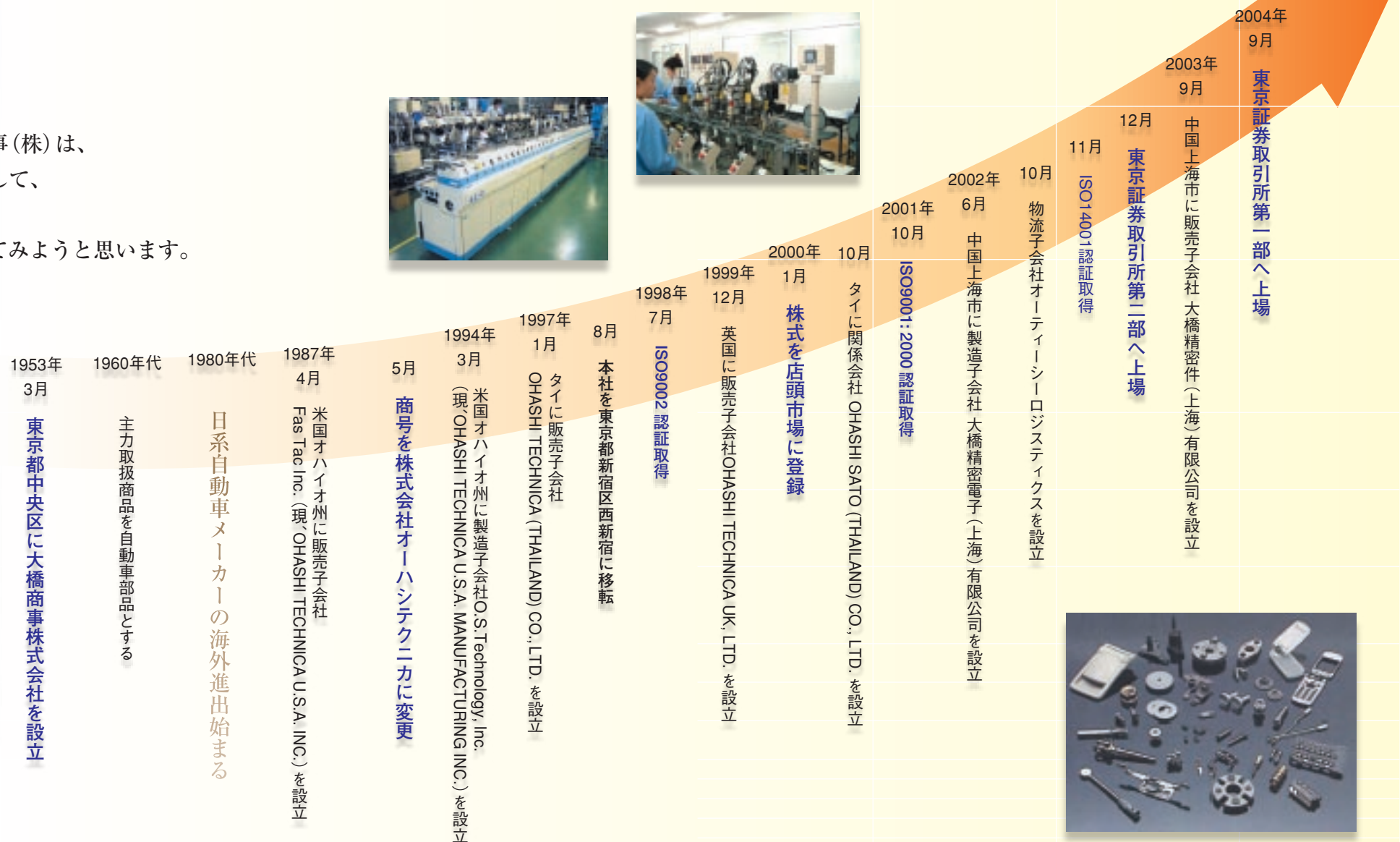
2004年10月、米国では、オハイオ、テネシー、インディアナに続く4番目の営業拠点となるジョージア営業事務所を開設いたしました。広く全米への展開に備えた部品供給体制の強化を目指しています。



クローズアップ

当社が歩んだ50年

戦後まもなく故大橋吉夫が創業し、
1953年、東京の京橋の一角で産声を上げた大橋商事(株)は、
50年余の時を超え、株式会社オーハシテクニカとして、
今、新たな飛躍の時代を迎えようとしています。
東証一部上場を機に、駆け足でこれまでの振返ってみようと思います。



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表 (単位:百万円)					
区分	52期中間期 平成15年9月30日	53期中間期 平成16年9月30日	区分	52期中間期 平成15年9月30日	53期中間期 平成16年9月30日
資産の部			負債の部		
流動資産	15,373	16,916	流動負債	7,794	8,129
現金及び預金	5,750	7,479	支払手形及び買掛金	6,856	7,001
受取手形及び売掛金	6,921	6,707	未払法人税等	402	378
たな卸資産	2,355	2,322	賞与引当金	172	150
繰延税金資産	193	196	その他	364	599
その他	194	240	固定負債	611	693
貸倒引当金	△ 42	△ 29	退職給付引当金	409	443
固定資産	3,812	4,285	役員退職慰労引当金	178	208
有形固定資産	2,417	2,490	その他	24	41
無形固定資産	183	332	負債合計	8,406	8,823
投資その他の資産	1,211	1,463	少数株主持分		
投資有価証券	361	472	少数株主持分	95	36
繰延税金資産	203	244	資本の部		
その他	658	757	資本金	1,281	1,767
貸倒引当金	△ 11	△ 12	資本準備金	1,066	1,552
資産合計	19,185	21,201	利益剰余金	8,081	9,033
			その他有価証券評価差額金	79	120
			為替換算調整勘定	174	△ 131
			資本合計	10,683	12,342
			負債、少数株主持分及び資本合計	19,185	21,201

ポイント 無借金経営

連結、単体とも借入金はありません。

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (単位:百万円)			
区分	52期中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)	53期中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	
売上高	13,664	13,480	
売上原価	10,247	10,218	
売上総利益	3,416	3,262	
販売費及び一般管理費	2,198	2,204	
営業利益	1,218	1,058	
営業外収益	44	71	
営業外費用	42	22	
経常利益	1,220	1,107	
特別利益	—	12	
特別損失	36	43	
税金等調整前中間(当期)純利益	1,183	1,076	
法人税、住民税及び事業税	531	447	
法人税等調整額	△ 23	△ 4	
少数株主利益	2	6	
中間(当期)純利益	673	627	

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)			
区分	52期中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)	53期中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	
営業活動による キャッシュ・フロー	71	1,051	
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 321	△ 381	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 173	△ 116	
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 2	13	
現金及び現金同等物 の増減額	△ 425	566	
現金及び現金同等物 の期首残高	6,175	6,912	
現金及び現金同等物 の中間期末残高	5,750	7,479	

単体財務諸表の要旨

単体貸借対照表 (単位:百万円)					
区分	52期中間期 平成15年9月30日	53期中間期 平成16年9月30日	区分	52期中間期 平成15年9月30日	53期中間期 平成16年9月30日
資産の部			負債の部		
流動資産	12,627	13,659	流動負債	7,400	7,440
現金及び預金	4,656	6,088	支払手形	212	188
受取手形	814	831	買掛金	6,362	6,516
売掛金	5,977	5,741	未払法人税等	394	345
たな卸資産	964	817	賞与引当金	136	117
繰延税金資産	119	96	その他	295	273
その他	138	111	固定負債	519	582
貸倒引当金	△ 42	△ 28	退職給付引当金	317	353
固定資産	4,561	5,409	役員退職慰労引当金	178	208
有形固定資産	716	697	その他	24	20
無形固定資産	157	279	負債合計	7,920	8,022
投資その他の資産	3,687	4,431	資本の部		
投資有価証券	2,423	2,535	資本金	1,281	1,767
長期貸付金	248	621	資本剰余金	1,066	1,552
繰延税金資産	191	225	利益剰余金	6,841	7,605
敷金保証金	276	263	利益準備金	147	147
その他	561	799	任意積立金	5,920	6,620
貸倒引当金	△ 13	△ 14	中間(当期)未処分利益	774	838
資産合計	17,189	19,068	その他有価証券評価差額金	79	120
			資本合計	9,268	11,045
			負債・資本合計	17,189	19,068

ポイント1 長期貸付金

OTT(タイ)本社、倉庫建設のための土地取得、建設資金の貸付を行いました。

ポイント2 資本金

公募増資、ストックオプション行使により増加しました。

ポイント3 営業外収益

米国子会社からの配当金が含まれています。

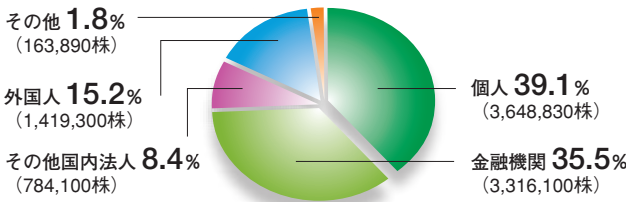
注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成16年9月30日現在)

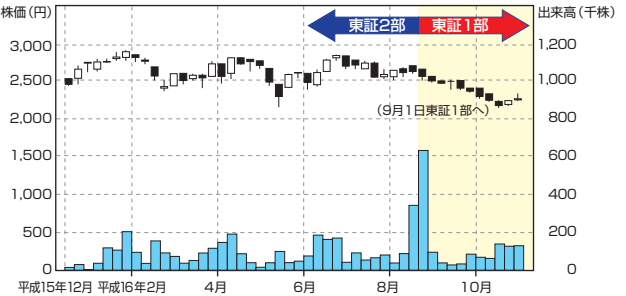
会社が発行する株式の総数	32,000,000株
発行済株式総数	9,332,220株
資本金	17億6,704万円
株主数	2,983名

大株主	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	497,700	5.33%
株式会社みずほ銀行	440,500	4.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	438,600	4.70%
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	405,400	4.34%
日本生命保険相互会社	380,000	4.07%
古尾谷 健	346,860	3.72%
資産管理サービス信託銀行株式会社	277,500	2.97%
バンクオブニューヨークフォーゴールドマンサックスインターナショナル	274,200	2.94%
久保 好江	254,890	2.73%
久保 雅嗣	254,890	2.73%

所有者別
株式分布状況



株価チャート
(平成15年12月18日
～平成16年10月末日)



株主の皆様のためのIR情報

中間配当のお知らせ

当社では、今53期中間期より新たに中間配当を実施させていただくこととなりました。今中間期は1株当たり10円とさせていただきます。

今後とも、期末の配当金を含めまして、できる限り業績に連動した安定配当を実施してまいりたいと思います。

中間期における
株主優待の実施について

今期より、9月30日現在の株主及び実質株主の皆様に対しても、お米ギフト券を贈らせていただくことになりました。新しい基準は、次の通りです。

(中間期及び期末それぞれ)		
100株以上	お米ギフト券	2kg
1,000株以上		3kg
5,000株以上		6kg
10,000株以上		10kg

会社概要 (平成16年9月30日現在)

社名	株式会社 オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒163-0921 東京都新宿区西新宿 2-3-1
創業	1946年（昭和21年）11月3日 1953年（昭和28年）3月12日 株式会社に改組
資本金	17億6,704万円
社員数	国内307名、海外388名（平成16年10月末現在）
事業内容	①自動車、情報・通信を中心とした組立産業の各種製品に使用される要素部品等の企画・設計・開発並びにその販売 ②海外子会社が販売する部品の国内での調達と輸出業務
役員 (平成16年9月30日現在)	代表取締役社長 古尾谷 健 取締役 増田 明 取締役 菊地 孝一 取締役 久保田 忠 取締役 青山 清治 取締役 窪田 清 取締役 前川 富義 取締役 堀内 郁夫 常勤監査役 高木 重輝 監査役 土田一富三 監査役 三好 徹 監査役 田口 弘 執行役員 小林正一郎 執行役員 田中 春次 執行役員 古性 雅人 執行役員 柴崎 衛



国内事業ネットワーク		
支店	日立 茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201 栃木 栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル5階 北関東 群馬県太田市西矢島581-6 立川 東京都福生市熊川987 ヤマカビル2階 川崎 神奈川県川崎市川崎区藤崎3-5-1 トークピア川崎4階 南関東 神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ 2階 浜松 静岡県浜松市篠ヶ瀬町502-1 名古屋 愛知県高浜市小池町2-15-10 大阪 大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階	
情報通信事業部	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階	
調達室	東京 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階 大阪 大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階 名古屋 愛知県高浜市小池町2-15-10 北関東 群馬県太田市西矢島581-6 諏訪 長野県諏訪市沖田町1-96-2 広瀬橋Sビル 南関東 神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ 2階 日立 茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201 海外 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階	
海外事業拠点		
北米	OHASHI TECHNICA U.S.A. INC. TENNESSEE BRANCH INDIANA SALES OFFICE GEORGIA SALES OFFICE OHASHI TECHNICA U.S.A. INC. MANUFACTURING INC.	
タイ	OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO., LTD. OHASHI SATO (THAILAND) CO., LTD.	
英国	OHASHI TECHNICA UK, LTD. NORTH EAST BRANCH	
中国	大橋精密電子（上海）有限公司 大橋精密件（上海）有限公司・広州事務所 大橋精密件製造（広州）有限公司	
国内関連会社		
株式会社 オーティーシー ロジスティクス 東京都国立市谷保3999-6		
株式会社 オーティーシー トライボロジー研究所 東京都新宿区西新宿2-3-1		